

KEYBOARD

2021.2/2 読売夕刊

目次

昨年（速報値、厚生労働省）の自殺者は2万9199人（速報値、厚生労働省）と、11年ぶりに前年より増加した。

大阪市では昨秋、商業施設屋上から高校生が飛び降り、地上の女子大学生が巻き添えになる痛ましい事故があった。遺書は見つからず、警察は聞き取りや生徒のSNSの分析でも、動機の特定に至らなかった。厚生労働省によると、2019年の自殺者の約3割の動機が不明という。大阪で自死遺族の集いを開く「池田分かつ合いの会・ひかり」

## 苦しさどうか話して

2021・2・2

の植村ヨシ子代表(76)は「心の繊細な人ほど『迷惑や心配をかけたくない』と悩みを打ち明けられず、命を絶つことが多い」と話す。会に来る自殺未遂者らと接しての実感という。

「『死ぬしか選択肢がない』と思いつめられないで、誰かに話をしてほしい。分かってくれる人が必ずいる」。長女を自死で失い、「どうして助けられなかったのか」と苦しみ続けているという植村さんの重く、切実な呼びかけだ。

(水谷弘樹)



身近な話題を社会部にお寄せ下さい